

銭湯を楽しむための 「あれやこれや」



入浴料金 12歳以上500円
6歳以上200円

※12歳以上と同伴する6歳未満は無料(2人目以降は1人につき100円)

※旭湯・みどり湯は、中学生料金(300円)あり

区内公衆浴場の詳細は区HP(コード①)、または目黒区公衆浴場組合HP(コード②)をご覧ください。



図各浴場(11・12面参照)

めぐろの銭湯 耳より情報



※下記のサービスは、東京都公衆浴場業生活衛生同業組合目黒支部加盟の公衆浴場①～⑧(左図参照)で利用できます

親子ふれあい入浴デー (毎月第2日曜日)

区内在住の小学生以下と保護者(2人1組)が無料で入浴できます。

敬老入浴デー (敬老の日の頃)

60歳以上の区内在住者と小学生以下の同伴者2人まで、無料で入浴できます。

めぐろリフレッシュ湯 *4月1日から、1回250円に改定

60歳以上の区内在住者を対象に、月に4回まで1回240円(*)で入浴できます(会員登録が必要。各浴場で申し込み。朝湯、サウナは別料金)。

イベント湯

- しょうぶ湯(5月5日頃。小学生以下無料)
邪気を払うとされているショウブの葉を入れたお風呂です。
- 柚子(ゆず)湯(冬至の頃。小学生以下無料)
香り高いゆずを湯船に浮かべたお風呂です。
- ラベンダー湯(10月10日頃)
北海道中富良野町で栽培されたラベンダーを使ったハーブ浴です。

ようこそ銭湯ランナー

脱衣所でウェアに着替えたり、貴重品を含めたランニング中の荷物を預けたりすることができます。入浴料のみで利用できます。

公衆浴場での 入浴ルール

ちょっとした気遣いで、銭湯がもっと心地よい場所になります。

湯船に入る前に、
まず体を洗おう



湯船には
タオルを入れない



シャワーや泡を
周りにかけない



おけや椅子は
置き場に返そう



脱衣所に戻る前に
体をふこう



銭湯研究家・町田さんの めぐろの銭湯のススメ

イチバン手軽な
極楽浄土

私は現在住んでいる場所(目黒区)で、昭和25年に誕生しました。当時の一般家庭にお風呂はなく、みんな銭湯を利用していました。なので、私の産湯は近所の銭湯といってもいいと思っています。

私が銭湯に興味を抱いたのは、40年ほど前に我が家に来た外国人の友人を、当時近所にあった永生湯(すでに廃業)に案内した時、彼から言われた「銭湯はなぜお寺みたいな形なの」という質問でした。これをきっかけに、私の全国銭湯巡りがスタートしました。現在まで、北海道から沖縄まで3,600軒ほどの銭湯を訪ねました。その過程で多くの銭湯における謎も解けました。

さて、目黒区の銭湯の最盛期は、浴場組合の資料によると、昭和43年で区内に64軒が営業していました。それは各町会に2軒以上あったということになります。昔は銭湯に行く時は、パジャマ姿で行ってもおかしくはありませんでした。銭湯は自宅の延長にあるという考えだったからだと推測しています。現在区内には、9軒の銭湯が営業中です。区内の銭湯の特徴を挙げるとするなら、多種にわたる設備を持つ銭湯がある、ということです。露天風呂・サウナ・ジェットバス・天然温泉などの近代的設備のある銭湯、さらには伝統的な宮造りの銭湯、今となっては貴重な富士山のペンキ絵や九谷焼のタイル絵のある銭湯などがあります。

それぞれ個性ある銭湯。まずは近所の銭湯からスタートしてみると、新しい発見があること間違いなし。「のれんの先は極楽浄土」です。



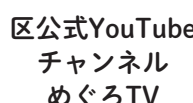
町田忍さん

一般社団法人日本銭湯文化協会理事、庶民文化研究所所長。目黒区原町生まれ。大学卒業後、警視庁警察官勤務を経て、庶民文化における風俗意匠を研究。40年以上にわたり全国の銭湯を訪ね歩き、銭湯に関する著書も多数。



町田さんが知人のジオラマ作家と共に制作した銭湯のジオラマ。外観から内部に至るまで、昭和の銭湯の様子が正確に再現されている。上の写真の入り口左手に立っている人形は町田さん本人(人形の大きさは小指大)。

目黒区からの情報を発信中！



※めぐろ区報電子書籍版は、多言語でご覧になれます。Meguro City Newsletter e-book version is available in multiple languages.